



ナイスイーグルSC



殺虫剤分類

15

農林水産省登録

第23080号

有効成分

クロルフルアズロン・・・10.0%

性状

類白色水和性粘稠懸濁液体

人畜毒性

普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

有効年限

4年

包装

250mL × 10本

特長

✓ キチン生合成阻害剤
昆虫の表皮に含まれるキチンの生合成を阻害し、脱皮・変態に異常をきたし、やがて死亡させる、脱皮阻害作用のある殺虫剤です。

✓ 長期残効性
本剤の有効成分は光、温度に対して比較的安定で、散布後長期にわたって残効が期待できます。

✓ 植物体への浸透移行性はありません
植物体内への移行性は、ほとんどありません。

✓ 幅広い殺虫スペクトラム
シバツトガやタマナヤガ等のチョウ目からコガネムシ類幼虫まで幅広い害虫に対して高い効果を示します。

✓ 遅効性です
幼虫の脱皮を阻害する薬剤ですので、効果発現は遅効的です。

✓ 芝にも環境にもやさしいSC製剤
ミツバチ等の有用生物および天敵にほとんど影響がありません。また、日本芝、西洋芝に対しても高い安全性が確認されています。

適用作物と使用方法

作物名	適用害虫名	1㎡当り使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフルアズロンを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
芝 (日本芝(こらいしば)を除く)	シバツトガ タマナヤガ スジキリヨトウ シバオサゾウムシ	0.075ml	0.1～0.3ℓ	発生初期	4回以内	散布	4回以内
	コガネムシ類幼虫	0.25ml	0.5～1ℓ				
日本芝(こらいしば)	シバツトガ タマナヤガ スジキリヨトウ シバオサゾウムシ	0.075ml	0.1～0.3ℓ	発生初期	4回以内	散布	4回以内
			0.8～3.2ml			無人航空機による散布	
	コガネムシ類幼虫	0.25ml	0.5～1ℓ			散布	

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフルアズロンを含む農薬の総使用回数
樹木類	ケムシ類	4000～6000倍	200～700ℓ	発生初期	4回以内	散布	4回以内

※本内容は2025年9月10日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項



- 散布液調製時には、使用直前に容器をよく振とうすること。
- 本剤は植物体上での移行性がないため、均一に散布すること。
- 本剤は幼虫の脱皮を阻害し、やがて死亡させる性質をもつため、幼虫期になるべく早く散布すること。
- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬液が飛散し、桑に付着するおそれがある場所では使用しないこと。
- 無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ること。
 - ・ 散布は散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - ・ 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ・ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ・ 散布薬液の飛散によって自動車やカートを塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 - ・ 散布液が池、河川などに入らないように注意すること。
 - ・ 散布終了後は次の項目を守ること。
 1. 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
 2. 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項



- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないように縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

魚毒性等

- ・水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- ・無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
- ・使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

保管

直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。